

生徒指導の充実

子供の自己肯定感を育む 開発的生徒指導への取組

「自分のよさを発揮し学校生活を楽しむ子供の育成」

中村 美枝子



みやき町立三根東小学校校長

はじめに

本校では「学校に行くのが楽しい」と笑顔で学校生活を楽しむ子供の姿を目指し、支持的風土の学校・学級づくりを大切にしている。特に子供が自己肯定感・自己有用感を感じながら自信をもって自分のよさを発揮できる「開発的生徒指導」に着目し、「出番・役割・承認・称賛活動」のよりよい在り方を模索し全教職員で取り組んでいる。その内容を紹介したい。

1 子供のよさに着目する校務運営組織

学校教育活動の中で、子供の出番や役

割が発揮できるように、校務運営を次の三つの組織で構成し「出番・役割・承認・称賛活動」を部会ごとに具現化している。

- ① 支持的風土づくりに向かう生徒指導の在り方を考える「自分づくり」部
 - ② 互いのよさが発揮できる体験活動の在り方を考える「仲間づくり」部
 - ③ 学び合い、考えることを楽しむ授業の在り方を考える「学びづくり」部
- それぞれの部会で「子供のよさ」が発揮できる教育活動の在り方を探り、職員会議、校内研修等で共通理解を図りながら校務運営を進めている。

2 子供のよさを引き出す生徒指導

① 生活の月目標等に向かう子供のよさを価値づける教職員による称賛活動

毎月の全校共通の生活のめあては学級の実態に応じた行動目標にして示し、その振り返りを行っている。月末の生徒指導協議会で各学級での目標に向け頑張っていた子供に教職員が称賛の言葉を書き、職員室前に掲示し、全校児童が集う生活朝会や昼の校長からの放送で紹介して価値づけ、意欲化につなげている。(写真1)

月目標以外でのよさも積極的に見つけ学級担任はスポットを当てたい子供へのメッセージで称賛している。



写真1
教師からのカードの掲示

クの着用」など呼びかけ、手作りブックカードをもってあいさつ運動に取り組んでいる。(写真4)図書委員会は、図書館祭り期間中に来館する人を笑顔にしようと図書館クイズを考え、正解者へのぬり絵や読書スタンプカードを手作りするなどして「図書館笑顔大作戦」に取り組んだ。(写真5)このような出番を通して「役に立っている」という自己有用感や自己肯定感が育まれている。



写真4
あいさつ運動を実施する委員会



写真5
図書館祭りで大活躍の図書委員

③ 「光るところ見つけ」活動への取組
毎月一回朝の時間に行う「こころタイム」では、友達の温かい行動や頑張りをカードに書いて伝え合う認め合い活動を行っている。学級や縦割り班の友達が自分の光るところを見つけ、感謝や称賛の言葉が綴られたカードは、学級のみんな

が目にする場所に掲示し(写真6)友達によさにも着目させている。保護者にもわが子の光るところへの思いを綴ってもらえるよう授業参観前にカードを配付して、専用ポストに投函してもらい(写真7)子供がよく通る場所に掲示している。このように学校と家庭が連携し、子供のよさを称賛し合うことで自己肯定感の高まりにつながっている。(資料2)

資料2
光るところ見つけカードに綴られた
保護者からのメッセージ

- 生き物が大好きで、やごやかエル、時には、へびまで取ってくるかっこいい家族です!
- とてもやさしく元気な○○くん、家族思いで好きなことと一生懸命、とてもすごいです。
- いつも人のよところを見つけてそれをほめることができる○○さん、素晴らしいです。私も見習います。
- 毎日キラリすてきな笑顔ありがとうございます。おかげでお父さんもお母さんもお仕事頑張れているよ!
- 毎朝、学校へ行く時、下級生の歩幅を考えてゆっくり歩いてくれてありがとうございます。安心して登校できていますよ。



写真6
自分のよさが書かれたカードの掲示



写真7
玄関設置のカードポスト

4 学ぶ楽しさを育む協働的な学び

① 「分からない」に寄り添える授業

校内研究では「分かる喜び・考える楽しさが実感できる授業」を目指し、算数科を中心にペアやグループで自分の考えを伝え合う、よりよい交流活動の在り方に視点を置き、授業研究を進めている。特に分からない子供に寄り添い「考え方を分かりやすく教えてくれる友達がいる支持的風土」を大切に「なるほど、わかったよ、ありがとう。」と「分かる喜び」が実感できる授業づくりに取り組んでいる。

② 伝え合うことで考えが深まる授業
自分の考えを友達に絵や図、言葉や式などを使って伝える活動では、「なぜ、どうして」など疑問点を問い返したり、自

分の考えと比較し「なるほど、いいな」と友達の考えのよさにも気付かせたりしながら、互いの考えを交流させている。それを全体の話し合いで取り上げ、子供の考えを広げたり深めたりしながら考えることを楽しむ授業を目指している。

5 自己肯定感につながるよさの振り返り

① 自分や友達によさに着目させる重点的体験活動での振り返り

体育大会は、子供一人一人が目標や役割をもって活動する。そこで、全校で事後の振り返りに取り組んでいる。自分が頑張ったことやできるようになったこと、役に立ったこと、やさしくできたことなどの視点から自分のよさを振り返らせている。また、友達の頑張りや友達がいたからできたこと、協力できたことについても振り返らせ、今後に生かしたい思いにつないでいる。(資料3)学年独自の出版・役割が期待できる体験活動についても実態に応じて振り返らせ、自分の成長への気付きを促すキャリアパスポートとしても活用している。

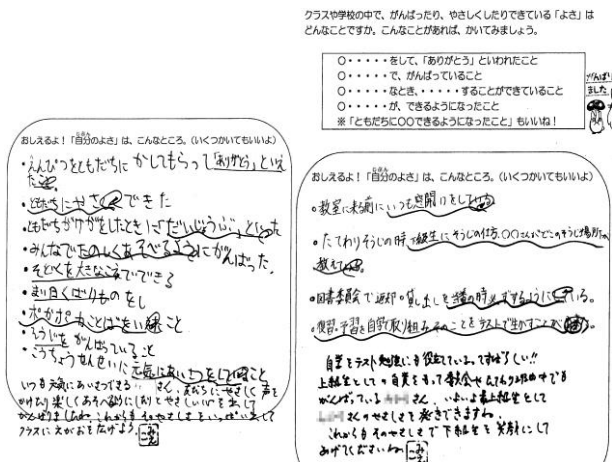
資料3
体育大会での振り返り



② 一年間の自分の成長を見つめさせる

友達や教師、家族などから自分に届いた光るところ見つけカード、自分のよさや頑張りが綴られた体験振り返りカード・生活振り返りカードなど自分の成長の歩み分かるポートフォリオ資料を読み返す時間を設定し、「自分の成長」を見つめさせている。自分の頑張りやできるようになったこと、友達にやさしくできたことなどの視点から自分のよさを書き綴らせている。(資料4)学校だけではなく家庭での自分のよさ、学級や縦割り班での友達との関りから見つめた自分のよさなど幅広い視点から自分のよさに気付くことができるようになり、自己肯定感を感じ取れる時間にもなっている。

資料4
自分のよさの振り返り(3年生・5年生)



6 自分のよさに自信をもち、笑顔輝かせて活躍する子供を目指して

子供がよさを発揮できる「開発的生徒指導」に着目した教育活動を行うことで、自分に自信をもって、学校生活を楽しく子供の姿が見られるようになっていく。今後も全教職員で子供一人一人のよさを認め称賛し、自己肯定感・自己有用感を高めることで、今以上に笑顔を輝かせ、活躍する子供を育んでいきたい。(なかむら・みえこ)